



にゅーすれたーふじやま・長泉



2011. 10

50周年を目前に！ パナソニックエイジフリー介護チェーン

9月29日大安吉日、(株)コーヨーでは新工場建設のため地鎮祭が行われました。

素晴らしいお天気に恵まれ、早朝だったこともあり、あたかも神様が降り立ったかのような錯覚さえ覚え、2009年11月の伊勢神宮の渡り始めの式の朝を思い起こしていました。地鎮祭とはご存知のとおり土木工事や建築などで工事を始める前に、その土地の神(氏神)を鎮め、土地を利用させてもらうことの許しを得る。神を祀って工事の無事を祈る儀式だと言われています。

社長の挨拶の核はここまで導いてくださった方々への感謝の気持ちでした。夫である社長のことには同感するものがあり、私も一緒に手を合わせ、頭を垂れました。

三日市浅間神社の大鳥居神官はいつも心に響く祝詞をはじめお話をされますが、今回は「お天気のよいときも雨のときも如何様にもおめでたい表現はいくつかありますが、「生憎の雨」という言い方よりも「恵みの雨」のほうがよいでしょう」と話されました。*生憎(心):意地が悪い

工場は来年2月には完成予定で、プラント稼動開始は4月頃になります。

最近、多くの方から「なぜ、海外に工場を持っていかないの?」とよく言われます。逆になぜ海外に持っていかなければならないのでしょうか。。。。これは社会貢献のひとつとして考えてください。企業が利益を出すことがそもそも社会貢献なのです。そこで雇用も生まれますし、税金も納められるのです。今後、障がい者と共に働ける場所も創出します。弊社は来期50周年を迎えます。地元で愛され続ける会社になることを願っています。



夢があるから強くなる！

絶対に勝てないと思っていたなでしこジャパンがワールドカップで優勝。そしてロンドンオリンピック出場も決まりました。日本サッカー協会キャプテンの川淵三郎氏は彼女たちが勝利したのは、「日本の女子サッカーを強くしたい」という「使命感」のメンタリティに支えられたからだと言っています。先日、Jリーグの生みの親でもある同氏の講演会に参加してきました。20年前に日本のサッカーのワールドカップ出場、プロ化を目指し、夢のまた夢のようなことを実現しようと走りだしました。ヨーロッパや南米のような地域に根ざしたスポーツクラブを目指し、彼は目標達成のために高いハードルの目標を立てたそうです(それができなかつたら諦めるつもりで)①法人化②15000人収容できるスタジアムをもつ③18人とプロ契約④ユースの育成など。。。。猛反発はあったもののバブルの絶頂期だったためか20の企業から応募があり、当初は10チームでスタートしました。1990年4月にJリーグ発足、翌年11月にチェアマンに就任。

揺るぎない信念と類まれな情熱やリーダーシップの持ち主の川淵氏は常に全体の利益を考えていました。すべてのしがらみを断ち切りユニフォームは2億円でミズノに依頼しスポンサー契約もしました。お話の中で特に心を打たれたのは96年頃から観客数が減少し始めたときに「チームを増やしたため観客数が減少したのだからチームを減らせ」と言われ、「理念ではない」とはねつけたというくだりです。これは事業にもつながる考え方だと思いました。

「Jリーグの理念」

* 日本サッカーの水準向上及びサッカーの普及促進* 豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達への寄与 * 国際社会における交流及び親善への貢献



渡邊啓視